

知行合一

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校

学校だより 第3号

令和元年5月23日

文責 校長 畑口益喜

春過ぎて 夏来にけらし 白妙の衣ほすてふ 天の香具山
持統天皇（百人一首2）

体育大会、優勝は青団！

20日（月）、令和元年度体育大会を開催しました。応援の部は赤団、看板の部も赤団、総合優勝は青団という結果でしたが、『田浦中PRIDE ～超えろ！己の限界を～』にふさわしい両団の頑張り、優劣をつけるには忍びないものがありました。

順延を決めた19日（土）の1時間目に、私とY先生が水を抜くための水路を掘っていたところ、3年生のIさんが、友達に「あれは、私たちがしないといけないことじゃないのか。」とつぶやいたそうです。昼休みになり、Nくんがみんなに声を掛け、3年生全員と、他の学年の生徒もグラウンドに出て、スポンジでの水抜き作業に取り組み、夕方なりやっとラインが引ける状態になりました。3年生の、体育大会を成功させたいという強い思いに感心し、感謝しています。

昨年度の3年生から生徒数は半分になりましたが、他者意識と自分意識を持って行動する3年生の頑張りの総和は、上回っていくような期待感があります。行事を通して急激に成長しています。

閉会式直後、赤団団長の柳田さんの悔し涙が呼び水になったようです。大雨になりました。雨の中、片付けにご協力いただいた保護者の皆様、最後までお世話になりました。



『対立と合意』、『効率と公正』

今年は例年より短い練習期間でしたが、子どもたちは集中して練習に頑張ることができました。

行事のたびにクラスの様々な課題が見えてきます。学校は社会に出るための準備期間です。他者意識と自分意識を持って、それらの課題をどう解決したかという経験が大切です。もめ事があることは悪いことばかりではありません。3年生の公民では「現代社会をとらえる見方、考え方」の一つとして「対立と合意」、「効率と公正」について学習しますが、体育大会の選手決定など、葛藤の場面こそが大きな学びの機会です。



【秘密の部屋】生徒の皆さんは、10連休はどのような過ごし方をしたでしょうか。

【令和元年】010501

午前零時、たった今、令和元年になりました。外は霧雨です。そういえば三種の神器の一つ、ヤマタノオロチを退治した剣は、オロチの頭上にいつも雲がかかっていたので「天叢雲剣（あめのむらくものつるぎ）」と名付けられたということでしたね。※「草那藝之大刀（くさなぎのつるぎ）」とも言われます。

黒猫の「おはぎ」だけが起きて付き合ってくれています。ご褒美にちゅ〜るをあげました。30年前は「自粛」ムードでしたが、大きな違いを感じます。テレビの内容はまるで年末、除夜の鐘が聞こえてきそうです。

大きな節目です。昭和63年にスタートした私の教職生活も3つの元号に渡ることとなりました。ブログのタイトルナンバーも「31」から「01」に変更しました。昨日・今日・明日の3日間は保存用の新聞をコンビニまで買いに行きます。(H)

【1年7組】010506

連休中に、初任校の西合志南中で1年生の時に担任をしたYくん夫婦、Oくんの3人と会いました。早いもので現在41歳です。Oくんは2年弱の期間、仕事（コース料理の中にラーメンがある店）でイタリアのミラノに住んでいました。今回は、びっくりした話のみを紹介します。

生徒指導用語で言うところの、ミラノでも有名な「元気のよい人」が多い町のアパートに3人で住んでいたそうですが、Oくんは強盗に1回、スリに1回遭遇。警察に行くと「ボーッと生きてんじゃねえよ！」とまでは言いませんが、盗られる方が悪いというような話をされたそうです。「電車で隣に座ったいかにもな感じの男を警戒して、バッグのファスナーを閉め、抱きしめていたのにすられてしまった」と、その技に感心していました。友達の一人も強盗に襲われて「これが身ぐるみ剥かれると言うことか。」というような格好で帰ってきたこともあったそうです。

突然、大勢の人が涙を流しながら走ってきたので、「何だ！」と思ったら、暴動が起きている「催涙弾」が投げられていた。アーノルド・シュワルツネッカー氏が自分の店の前にある高級店に来た。など、話題は尽きませんでした。

日本のお菓子が恋しくて、お土産で羊羹をもらうととても嬉しかったそうです。(H)

【順延】010519

昨日の予報では、夜には晴れるということでしたが。起床した朝4時ごろは雨音、朝5時前に水俣を出た時は雨、津奈木IC付近は雨、芦北町に入り佐敷IC付近は晴れ、田浦ICに降りると小雨。しばらくすると本降り。

体育大会は応援や日程の関係から、小雨実施の場合が多いのですが、今朝6時前にPTA会長、集まれた保護者の皆さんとグラウンドを確認するも、水がたまり、コースはぬかるみ、競技をするには非常に困難な状態。他校とも連絡を取り合いましたが、グラウンドの状態には差があり、学校ごとに判断し、本校は順延を決定しました。

グラウンドの整備をしていると、昼前に教育長がいらっしゃいましたが、田浦中校区と佐敷中校区・湯浦中校区では雨の降り方がずいぶん違ったというお話でした。国道3号線を下り、の津奈木トンネルを超えると雨が降っていることがあると言うのもよく聞く話です。津奈木中も順延でした。

ホームページでも順延のお知らせをする予定でしたが、各学校でのアクセスが集中したようで、開くことができませんでした。大変ご迷惑をおかけしました。

通常は連絡網、PTAメール、ホームページと3つの方法でお知らせしていますが、災害発生時などを考えると、そのうちのいくつかは機能しないこともあり得るということを前提に、複数の情報伝達手段を持つことの大切さを痛感しました。(H)

